

みなさん、こんにちは。今回は、病気やケガで病院に行く時のことをお話しします。病院に行きたい時は、まず家の近くの病院や診療所に行きましょう。近くの病院や診療所で治療することが難しい時は、医師が、大きな病院への「紹介状」を書いてくれます。紹介状をもらってから、大きな病院を予約して治療を受けます。

病院には、予約して診察する病院と、受付をした順番で診察する病院があります。予約のやり方や受付の時間は、病院によって違います。ホームページや電話で確認してください。

ホームページ「ながの医療情報Net」では、自分の症状にあった病院や、近くの病院、薬局を探すことができます。休みの日や夜に病院に行く時も、「ながの医療情報Net」の「緊急医を探す」で病院を探すことができます。重症の時、命にかかわる症状の時は、119に電話して、救急車を呼んでください。

病院に行ったら、受付で健康保険証を出します。健康保険証がないと、かかったお金をすべて払わないといけません。診察室に行ったら、症状を詳しく話して、治療を受けます。診察が終わったら、受付でお金を払います。病院で薬の「処方箋」をもらった時は、薬局に行ったら処方箋を出して、薬を買います。薬をもらう時は、飲み方・使い方をよく聞いてください。

外国語が使える病院は、長野市国際交流コーナーのホームページで見ることができます。診療科目や時間によって、外国語が使えない時があります。病院に行く前に電話で確認してください。

長野県多文化共生相談センターのホームページには、英語や中国語（以下、ベトナム語・タイ語）などの「問診票」があります。問診票には、病気やケガをした人に医師が質問することが書いてあります。診療を受ける時の参考にしてください。